



平成24年1月5日発行

発行元：国土交通省 総合政策局

秋村参事官室(総合交通体系)

目次



Column

- ・ 欧州各国の総合的な都市交通計画における「自転車」について
(第2回：フランス・パリ) (都市交通評論家 亘理 章)



地域(?)の取り組み紹介

- ・ メルマガ紹介 (ESTメールマガジン、近畿運輸局メールマガジンについて)



イベント案内

- ・ **【H24.2.11・12開催】** スマートまちづくりフォーラム in 水戸
～交通から考えるまちづくり～ (水戸市政策研究会 代表 須藤文彦)



参事官室だより

- ・ **【直前】** 第32回総合的交通基盤整備連絡会議について
《福島県郡山市にて平成24年1月17日開催》
- ・ 総合交通体系(地域モビリティ戦略)研修報告 ～内容、評判そして反省点～
- ・ 平成23年度ユニバーサル社会に対応した
歩行者移動支援に関する現地事業(京都地区)について
- ・ 「ICTを活用した歩行者移動支援に関する勉強会」(第6回)について
- ・ 室員紹介 ～第八回 中村課長補佐 ～



Information

- ・ 総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい!
- ・ 地域の取り組み 及び イベント案内募集!!



編集後記

Column



欧州各国の総合的な都市交通計画における「自転車」について

(第2回:フランス・パリ)

(都市交通評論家 巨理 章)

第41号より掲載させていただいている自転車特集の第2回(全3回)になります。フランクフルト、ナント、マルメに引き続き、今回はフランス・パリのこれまでの取り組みと現在の状況について紹介いたします。

「はじめに」でご覧いただけるように、1990年代半ばよりつい20年程度の期間で取り組まれてきたことや、近年の取り組みの効果について紹介いただいております。

ではなく、現在進行形の政策、施策として臨場感を持ってご覧いただけるのではないのでしょうか。

《記事はこちらから↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1112jitennsha.pdf>



本文より。カッコいいですね

地域(?)の取り組み紹介



メルマガ紹介(第一弾)

地域の取り組みではないかもしれませんが、当室のメルマガに限らず、交通関係の施策を取り扱うメールマガジンが各種発行されています。今後、各団体におけるメルマガを逐次ご紹介していきたいと思っております。その第一弾(不定期)として、以下のメルマガを掲載されているURLご紹介いたします。

本メルマガ御購読者で、「このメールマガジンが参考になる!」といった情報がありましたら、是非ともご紹介ください。(情報提供はこちらまで soukou@mlit.go.jp)

【環境的に持続可能な交通(EST)ポータルサイトより】

■<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html> (H23.12末で第65号をむかえられています)

【国土交通省近畿運輸局「地域公共交通の確保・維持・改善」のページより】

■<http://www.tb.mlit.go.jp/kinki/kansai/program/index.htm> (ページ最下段にあります)

イベント案内



[H24.2.11・12開催]

スマートまちづくりフォーラム in 水戸 ~ 交通から考えるまちづくり ~ の開催 (水戸市政策研究会 代表 須藤文彦)

様々な地域で、それぞれの地域を元気にしよう、持続可能な愛すべき地域にしようという取り組みが繰り広げられているかと思っております。その中の一つとして、今回茨城県水戸市における取組

みを紹介させていただきます。

これまで行われていたLRTを市民に知ってもらうための活動に加えて、昨年開催された連続講義「藻谷浩介まちづくり道場」(※)後、いくつかのテーマに分けてまちづくりを実践することとし、そのテーマの一つとして水戸の交通問題を考えていく取り組みが始まりました。その二つの活動が連動する形で今回、水戸で快適に「移動」することができるような仕組みづくりに取り組むことを目的に、当該フォーラムの開催が企画されています。地域づくり、まちづくりの動きにご興味のある方は是非ご参加ください。

※<http://doraku.asahi.com/hito/runner2/111206.html> (「藻谷浩介まちづくり道場」の様相)
《記事はこちらから↓》

<http://www.ml.it.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1112foramu.pdf>

ご購入の方々からのイベント情報、耳より情報お待ちしております。また、イベント主催者の方々も、このメーリングリストも広報の場として活用頂ければ幸いです。(情報提供はこちらまで soukou@ml.it.go.jp)

参事官室だより



第32回総合的交通基盤整備連絡会議について

《福島県郡山市にて平成24年1月17日開催》

これまで案内してまいりました、連絡会議も開催まで10日程度と直前になってまいりました。会議参加、ポスターセッションへの参加についてはまだ間に合います(現地視察会については別途ご相談ください)、ご希望の方がいらっしゃいましたら、極力早くご連絡ください。申し込みフォームは以下のとおりです。会議内容詳細はメルマガ第41号をご参照ください。

メルマガ第41号：<http://www.ml.it.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/41.pdf>

連絡会議参加希望返答用フォーム:

<http://www.ml.it.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/henntou.doc>

ポスターセッション募集フォーム:

<http://www.ml.it.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/boshu.doc>



総合交通体系(地域モビリティ戦略)研修報告 ~内容・評判、そして反省点~

本メールマガジンでも案内させて頂いておりましたが、標題の研修について、11月28日から12月1日の4日間にわたり無事開催させて頂きました。今年度初めて開催いたしました研修ですが、定員20名に対して、自治体より6名、整備局・北海道開発局より6名、運輸局より5名、本省

より1名の計18名、様々な部署からの研修員に受講頂きました。(写真：初日の集合写真(一人が編集者Nです))

【研修内容について】

研修に参加頂けなかった方々にも、どのような内容の講義が行われたかご覧頂けるよう、今回のメルマガにて講義資料を紹介させていただきます。講師による説明が加わることにより、よりご理解頂ける部分はありますが、自己研鑽に活用頂ければ幸いです。



平成22年度 総合交通体系の構築に関する研修 国土交通大学校 平成22年11月 撮影

【研修の評判について】

今年より開始しました研修について研修員からの感想を何点かご紹介します。

《研修全般》満足頂いた割合(94.4%)。自治体、整備局、運輸局の方々と交流できた。自治体の方々の思いを感じることが出来た。異なる分野が集まり意見交換が出来た。研修人員、班構成、開催時期などちょうどよかった。東京モーターショーに時期を合わせてほしかった。《講義内容》幅広い内容でよかった。もっと基礎的な講義があるとよかった。イーグルバスの社長自らの講義や菊池市の当時の担当者の講義等実際に取り組まれている方々の講義だったため内容の濃い話を聞くことができた。道路整備に関する話題のみならず、その上を走る交通について勉強することが出来た。

《現地視察》実地見学は、具体の現地を見ることや、住民の考えを聞ける場があるとよかった。《班別討議》班別討議の時間が短かった。異なる分野の研修員による研究はおもしろかった。深い議論をするため、もう少しテーマを絞ってもよかったのではないかな。

【反省点について】

参加頂いた研修生の多くから、満足頂いた趣旨の声を頂きましたが、4日間おつきあいした方々の若干名でも満足頂けていない方がいらっしまったことを踏まえ、次年度開催に向けて見直して行きたいと思えます。具体的には、「班別討議の実施内容・時間(テーマ設定、時間の延長)」、「現地視察の充実(現地に足を運ぶ意味のある内容へ)」、「講義内容の充実(幅広い研修員に対応できる基礎的～実践まで体系立てた講義を目指す)」等を検討しております。

次年度の開催については、まだ確定しておりませんが、交通の「人材育成」の強化を目指して開催を企画しております。具体の連絡は、国土交通大学校の研修全体の実施予定として自治体、整備局、運輸局等各組織に行くかと思えますが、本メールマガジンでも改めてご連絡しますのでよろしく願います。

※本メルマガ購読者の皆様で、こういった研修が必要だ、こういった内容の講義が聴きたいなどのご意見、ご要望がありましたら、是非ともご意見ください。

【講義資料】 [URLをクリック頂くと講義資料ご覧いただけます。](#) ()内はデータ容量

1日目:

「総合交通体系と地域モビリティ戦略について」

国土交通省 総合政策局 参事官（総合交通体系） 秋村成一郎

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/kennshuu1.pdf> (12MB)

「地域活性化に向けた地域モビリティ戦略」

首都大学東京 都市環境学部助教 吉田樹

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/kennshuu2.pdf> (1.9MB)

2日目: 現地視察（相模原市における交通施策（マスタープランから交通空白地対策まで）、

イーグルバス株式会社におけるデータ収集・分析と通した効率化の取り組み）

3日目:

「小田急小田原線複々線化事業の経緯と今後の展開」

小田急電鉄株式会社 複々線事業部長 今井 士郎

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/kennshuu3.pdf> (9.4MB)

「中山間地における住民主体の生活交通確保の取り組みについて」

(社)中越防災安全推進機構 事務局長 山口壽道

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/kennshuu4.1.pdf> (11.8MB)

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/kennshuu4.2.pdf> (2.6MB)

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/kennshuu4.3.pdf> (0.2MB)

「発想の転換による地域の交通体系構築の取り組みについて」

熊本県 菊池市 参事 笹本聖一

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/kennshuu5.pdf> (1.2MB)

4日目: 班別討議及び発表



平成23年度ユニバーサル社会に対応した歩行者 移動支援に関する現地事業(京都地区)について

第40号より紹介しております現地事業の4地域も残すところ2地域となりました。今回はその一つ京都地区をご紹介します。

長崎、函館に引き続き、観光の街としての印象が濃い京都ですが、皆さんの知ってらっしゃる京都の魅力はごく一部かもし



本文より。ご当地ナビ概要

れません。雑誌ではわからないリアルタイムの京都の情報を知ることができたら、どれほど「京都」を強く感じて頂けるでしょうか。その京都を「どこでも、だれもが体験することができたら」、どれほど多くの方々に「京都」を感じて頂けるでしょうか。こういった京都の実現に向けた一つの取り組みとなっています。

《記事はこちらから↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1112idoujienn.pdf>

「ICTを活用した歩行者移動支援に関する勉強会」(第6回)について

これまでもご紹介している、「ICTを活用した歩行者の移動支援に関する勉強会」(座長：坂村健 東京大学大学院情報学環教授)の第6回を開催いたしましたのでご紹介します。これまで取り組んできた歩行者移動支援システムについて、平成25年度までの具体的な取り組み内容など継続的なサービスの実現に向けたビジネスモデル等に係る議論がなされました。

■勉強会ホームページ：

第6回：http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo23_hh_000025.html

《記事はこちらから↓》

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/1112ICT.pdf>

室員紹介 ～ 第八回 中村課長補佐～

第六回は、東京都三鷹市出身中村課長補佐です。前号も当室で最も新しい補佐を紹介しましたが、中村補佐は更に新しく12月1日よりメンバーに入りました。「陸・海・空にわたり、交通施設の整備、交通サービス等のハード・ソフトが一体となった総合的な交通体系の整備を推進する」(メルマガ第36号参照)とありますが、今回はちょっと変わった、「陸海空」のうちの「海」を紹介しています。紹介内容は益荒男ですが、当室の紅一点です。



お祝いです

《記事はこちらから↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1112situin.pdf>

Information

総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！

総合交通メールマガジンでは、読者の皆様からのご意見・ご要望を踏まえて内容を充実させていきたいと考えています。誌面の感想、取り上げて欲しいテーマなど、どのようなことでも構い

ませんので、ご意見等頂けると幸いです。様式、送付先については、下記URLをご利用下さい。

URL : <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/iken-merumaga.xls>

引き続き、メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方については、送信先の変更を申請下さい。なお、変更内容については、以下までお願いします。

E-mail : soukou@mlit.go.jp

地域の取り組み 及び イベント案内 募集！！

当室では、情報提供頂いた取り組みをメールマガジンで紹介することにより、各地域でノウハウ等の情報共有・情報交換ができればと考えており、総合的な交通施策の取り組みについて情報提供頂ける自治体等を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、お気軽にご連絡下さい。

また、被災後の取り組み、災害を見据えた防災力向上の取り組み等交通分野等で現在支援を行っている自治体、NPO等の事例について、ご紹介頂ける方是非情報提供頂けますでしょうか。

更に、イベント案内について、主催者でも結構ですし、耳より情報でも結構です。勉強会や講演会、セミナー等ご紹介頂ければ、当メールマガジンにて案内をさせていただきます。

(情報提供はこちらまで soukou@mlit.go.jp)

【情報提供頂く内容】

例えば、・低炭素社会の実現に向けモビリティのあり方を見直す取り組み(交通の再編等)

- ・交通の改善により地域活性化を図る取り組み など

※ これまでに、推薦頂いたものも含めて70件の取り組みを紹介させて頂きました。

バックナンバー一覧：

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html



明けましておめでとうございます。昨年4月より担当し、9号目の第42号となりました。ご購入いただいている皆様本当にありがとうございます。本年も心機一転、皆様の業務の参考となるとともに、ほっと一息してご覧いただけるようなメルマガとなるよう取り組んでまいりたいと思いますので、是非とも「こういった内容が欲しい！」などの熱いご声援を頂けると幸いです。

旧年中9号分の発行にあたり、本当に様々な方々にお世話になりました。このような場となりますが感謝申し上げます。現地にも足を運ばせて頂き、具体の取り組みを直にお聞きし、体験させていただきました。第35号でご紹介した中越地震後の地域の足の確保に向けた取り組みについて、新潟県長岡市にて長時間にわたりお話をいただきました。中越地震の経験が東日本大震災でも参考になるのではと、強く感じています。また、第37号でご紹介した人材育成の取り組み「Qサポネット」の福岡市での交流・意見交換会にも参加させていただきました。「Qサポネット」では、その後も活動が積極的に行われており、先日行われた大分市における交流・意見交換会については、なかなか現地で参加できない方に向け、インターネットを活用した「知識の共有」「人材育成」の取り組みが行われていますので、是非ともご覧頂ければと思います。

<http://www.ustream.tv/recorded/18629462> (2分割中の1：基調講演、特別講演)

<http://www.ustream.tv/recorded/18635810> (2分割中の2：グループディスカッション)

紙面の都合上、具体には申し上げることのできない多くの方々にご協力いただきながら、本メルマガを作成させていただいております。今後ともよろしく願いいたします。

東日本大震災をはじめとした激動の平成23年を越え、平成24年となりました。平成24年の幕開けといたしまして、1月17日には、東日本大震災の被災地でもあります福島県郡山市にて総合的交通基盤整備連絡会議も開催いたします。自治体関係の方々はどなたでもご参加いただけます、また自治体の方に限らずポスターセッションはご参加いただけますので、是非ともご参加ください。最後になりますが、本年も引き続きよろしく願いいたします。

【問い合わせ先】

国土交通省 総合政策局 参事官室（総合交通体系） 野津隆太

TEL：03-5253-8111（内線53-113）

FAX：03-5253-1675

E-mail：sokou@mlit.go.jp

URL：<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/sokou/index.html>

